Panasonic

アクティブディスプレイ DSP サウンドステーション

取扱説明書

品　番

〈CD〉 CQ-RX909D

〈MD〉 CQ-MR909D



CQ-RX909D

CAR AUDIO

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

Mini Disc

保証書別添付

● このたびは，パナソニック　カーオーディオをお買い上げいただき，まことにありがとうございました。

● この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ，正しくお使いください。
そのあと保存し，必要なときにお読みください。

● 保証書は，「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ，販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用前に

本説明書は，CQ-RX909D および CQ-MR909D の取り扱いについて説明しています。
下記のような機能の相違がありますので，お買い上げの機種をよくお確かめください。

CQ-RX909D と CQ-MR909D の相違点

機能 / 機種	CD	MD
CQ-RX909D	○	×
CQ-MR909D	×	○

本文中では，次のように表示しています。

RXのみ ･･･CQ-RX909D のみの機能
MRのみ ･･･CQ-MR909D のみの機能

- 製品イラストは，特にことわりのない限り CQ-RX909D を記載しています。
- 配線のしかたは，全て同じです。

使いかた

必要なときに

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するため，必ずお守りいただくことを，次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を，次の表示で区分し，説明しています。

⚠警告	この表示の欄は，「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は，「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を，次の絵表示で区分し，説明しています。
（下記は，絵表示の一例です。）

⃠	このような絵表示は，してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は，必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

運転者は走行中に操作をしない

禁止

走行中の操作は，前方不注意による交通事故の原因になります。
安全な場所に停車し，操作してください。

取り付け･アース配線等に，保安部品を使わない

禁止

ステアリング・ブレーキ系統・タンク等の保安部品のボルト・ナット・ビスを使用すると，事故の原因になります。説明に従い，付属品をご使用ください。

⚠注意

分解や改造をしない

分解禁止

分解や改造，コードの被覆を切って，他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火，感電，故障の原因になります。

機器内部に異物を入れない

禁止

内部に金属物や燃えやすいもの等の異物が入ると，ショートや絶縁不良で発熱し，発火・感電・故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。

ヒューズの交換は専門技術者に依頼する

規定以外のヒューズを使用すると，発煙・発火，故障の原因になります。ヒューズの修理や交換は，お買い上げの販売店にご依頼ください。

可動部やディスク挿入口に手･指を入れない

禁止

可動部やディスク挿入口に手・指を入れると，けがや故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。

適正な音量で使用する

車外や周囲の音が聴こえない状態での運転は，事故の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

禁止

音が出ない，煙が出る，変なにおいがする等の異常な状態で使用すると，発火・感電の原因になります。直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

水をかけたり，ぬらしたりしない

禁止

内部に水が入るとショートや絶縁不良で発熱し，発火・感電・故障の原因になります。洗車や雨のときに水がかからないようご注意ください。

DC12V⊖ アース車で使用する

本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など（DC24V車）には使用できません。ショートして発火や故障の原因になります。

特殊形状のCDやCDアクセサリーは使用しない

禁止

ハート型や八角形など特殊形状のCDや，プロテクトフィルムやスタビライザーなどのCDアクセサリーを使用すると，故障の原因になります。

⚠注意

取り付け･配線は専門技術者に依頼する

本機の取り付け，配線には専門技術と経験が必要です。安全のため，お買い上げの販売店にご依頼ください。

配線作業中はバッテリーの⊖端子を必ずはずす

説明に従って正しく配線しないと，ショートによる感電やけが，および発火や故障の原因になります。

運転や乗り降りを妨げたり，破損しないようにコードを引き回す

運転や乗り降りを妨げられると，事故やけがの原因になります。
コードが傷んだまま使用すると，ショートや断線により，発火や故障の原因になります。

- 傷つける，無理に引っ張る，折り曲げる，ねじる，束ねる，加工する，熱器具へ近づける，重いものをのせるなどしない。
- 車体やねじ，およびシートレールの可動部にはさみ込まないよう整形し，固定する。
- ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足等に巻き付かないよう，引き回す。

電池は正しく扱う

電池を正しく扱わないと，破裂や液もれにより，発熱・発火，けがや故障，周囲を汚染する原因になります。

- 電池は極性表示（＋と－）を確かめて，指示どおり正しく入れる。
- 指定外の電池を使ったり，新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。
- 使いきった電池は，すぐに交換する。
- リモコンを長時間使用しないときは，電池を取り出しておく。
- 電池を廃棄や保存するときは，テープを巻きつけたり，ビニール袋などに入れて絶縁する。
- 充電・ショート・分解・変形・加熱・火や水の中に入れる・金属物と接触させるなどしない。
- 窓を閉め切った車の中，車のトランクの中，直射日光のあたるところ，ヒーターの近くなど，著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。
- 乳幼児の届くところに置かない。万一飲み込んだ場合は，すぐに医師にご相談ください。

電池の液もれが発生した場合の処置について

- 電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから，新しい電池を入れてください。
- もれた液が身体や衣服に付着したときは，水でよく洗い流してください。
- 万一，目に入ったときは，こすらずにすぐ水で洗い流し，医師にご相談ください。

付属品を確認する

1．取扱説明書 ……………… 1
2．取り付け用付属品 ……………… 一式（P.50 参照）
3．電源コネクター ……………… 1
4．リモコン ……………… 1
5．リチウム電池（CR2025） ……………… 1
6．保証書 ……………… 1
7．お客様ご相談窓口一覧表 ……………… 1

リモコンを準備する

電池の入れかた

1. 電池ケースを出す。

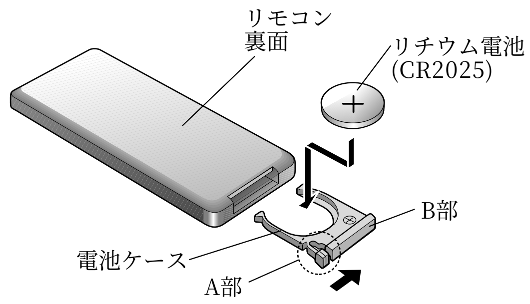
A 部を矢印の方向に押しながら，B 部を持って引っ張り出してください。

2. リチウム電池(CR2025)を入れる。

(+) (−) を間違えないように右図どおりに入れてください。

3. 電池ケースを入れる。

最後まできちんと入れてください。



使用する電池

- 使用電池　：パナソニック　リチウム電池（CR2025）
- 電池の寿命：通常の使用状態で約 6 ヶ月（常温時）

システムアップ時の操作について（P.32，37，48～49 参照）

デジタルサラウンドプロセッサー（CY-AC300D：別売）を接続した場合

準備

① **DVD IN 設定を“ON”にする（P.32 参照）**
“THRU 表示”が点灯します。

② **CY-AC300D へのアナログ入力レベルを調整する**
CY-AC300D の“OVER インジケーター”が点灯しないように，本機で音量を調整します。

お願い

CY-AC300D をご使用にならない場合は

- CY-AC300D を取りはずし，必ずシステムを組みなおしてください。
- DVD IN 設定は，“OFF”にしてください。

お知らせ

アナログ入力レベルが正しく調整されていないと，音が小さすぎたり，歪んだりすることがあります。

- **アナログ入力レベルを調整が終わったら，以降のシステム全体の音量は CY-AC300D で調整します。**
- **サウンド・音場は CY-AC300D で設定するため，本機で設定したサウンド・音場設定は無効になります。**
- **CY-AC300D への入力ソースは，本機で切り替えます。**

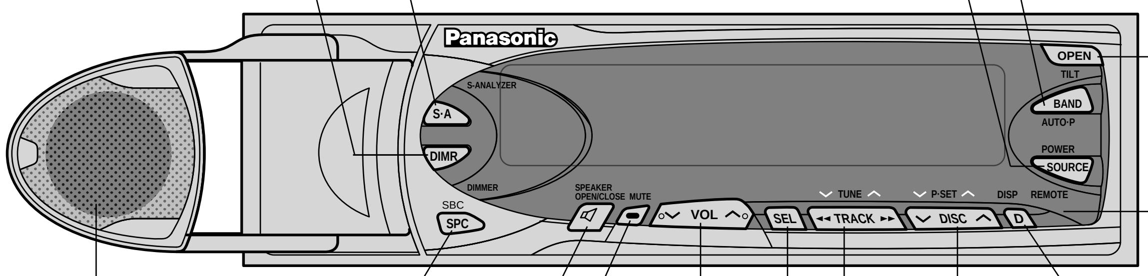
詳細は，CY-AC300D の取扱説明書をご参照ください。

各部のなまえ

本 体

前 面 部

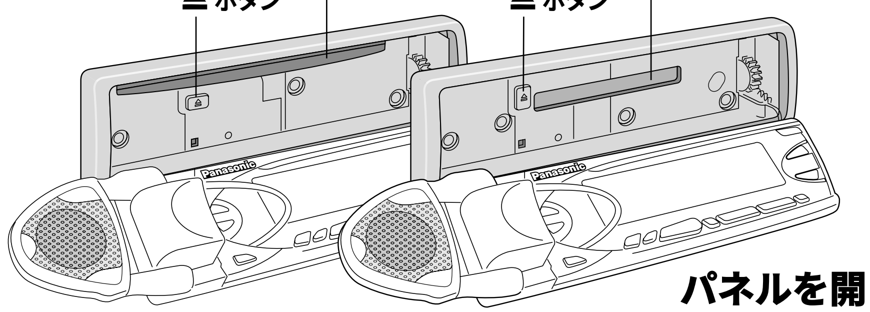
センタースピーカーを開いたところ



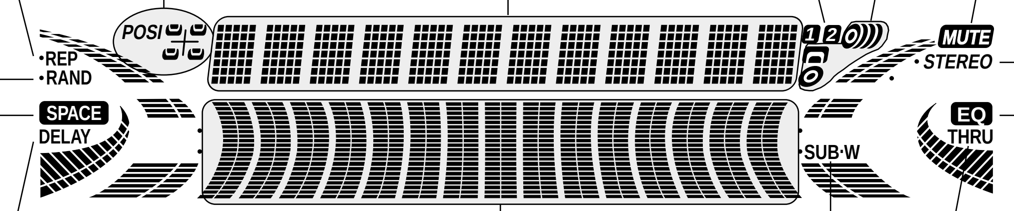
お知らせ

本体には，下記のボタンがありません。
リモコンで操作してください。

SCAN ボタン，RAND ボタン，REP ボタン

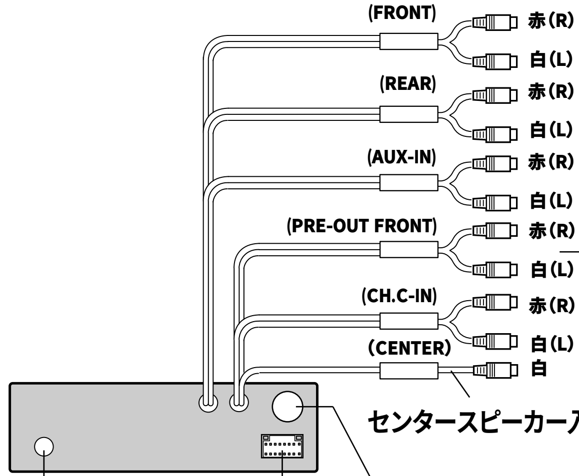


ディスプレイ部



後 面 部

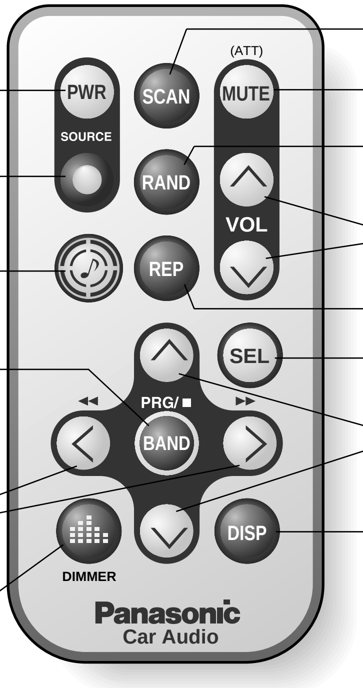
※ **配線のしかたは，P.45 ～ 49 をご参照ください。**



ご使用前に

リモコン

※ 本体の REMOTE（リモコン受光部）に向けて，操作してください。（P.8 参照）



POWER（PWR）ボタン
SOURCE ボタン
SPACE（SPC）ボタン
SBC ボタン
BAND ボタン
(AUTO・P ボタン)
(CHANGER 1 2 ボタン)
TUNE ∧∨ ボタン
TRACK ◀◀ ▶▶ ボタン
DIMMER ボタン
S・A ボタン
SCAN ボタン
MUTE（ATT）ボタン
RAND ボタン
VOL ∧∨ ボタン
REP ボタン
SEL ボタン
P・SET ∧∨ ボタン
DISC ∧∨ ボタン
DISP（CLOCK）ボタン

お知らせ

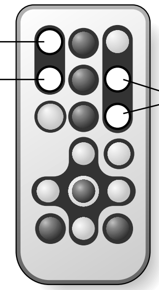
- リモコンには，下記のボタンがありません。本体で操作してください。

  OPEN ボタン，TILT ボタン，
  SPEAKER OPEN/CLOSE ボタン

- リモコンに文字が記載されていても，本機では使用しないボタンがあります。（他の製品と共用仕様のため）

  PRG / ■ ボタン

操作する前に，車のイグニッションスイッチを“ACC”または“ON”にしてください。



⚠ 注意

運転者は走行中に操作をしない

禁止

走行中の操作は，前方不注意による交通事故の原因になります。
安全な場所に停車し，操作してください。

本説明書は，リモコンでの操作を中心に説明しています。

- 本体での操作のしかたは，リモコンと違う場合に明記してあります。
- どちらか一方のみで操作する場合には，右のように表示しています。 本体のみ　リモコンのみ

電源を“入/切”する

POWER（PWR） を押す。

本体で電源を切るときは

POWER（SOURCE） を1秒以上押す。

お知らせ

- 初めてご使用になるときはラジオを受信し，デモモードが表示されます。
- デモモードのときは操作できないことがあるので，スペアナ表示を切り替えてください。
  → S・A を押す（P.34 参照）
  本体の場合は，センタースピーカーの内側のパネル面にボタンがあります。（P.12 参照）

音量を調整する

調整範囲 0 ～ 40

VOL ∧ ：音量が上がる
VOL ∨ ：音量が下がる

お知らせ

ソースごとに記憶されるので，ソースを切り替えると，音量が変わります。〈インテリジェントボリューム〉

音源（ソース）を選ぶ

SOURCE を押して，切り替える。

→ TUNER
↓
CD〈RX のみ〉
↓
MD〈MR のみ〉
↓
CHANGER〈別売の CD/MD チェンジャーを接続したときのみ〉
↓
AUX IN

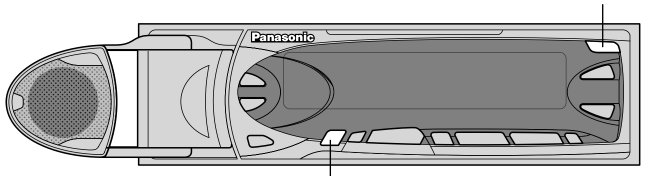
お知らせ

次のような場合は，そのソースに切り替わりません。

- ディスクが入っていないとき
- チェンジャーにマガジンが入っていないとき

使いかた

共通の操作



⚠ 注意

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない

禁止

可動部やディスク挿入口に手・指を入れると，けがや故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。

お願い

パネルやセンタースピーカーは，手で動かしたり・動きを妨げたり・無理な力をかけたりしないでください。

本体のみ　パネルの角度を変える

パネルの角度を調整すると，表示が見やすくなります。

本体の［TILT（OPEN）］を1秒以上押す。

- ボタンを1秒以上押すごとに，パネルの角度が変わります。〈チルト機構：3段階〉

お知らせ

- 車のイグニッションスイッチを“ACC”または“ON”にすると，パネルが調整されていた角度まで開きます。
- 車のイグニッションスイッチを“OFF”にすると，パネルが自動的に閉まります。

本体のみ　パネルを開く

本体の［OPEN］を押す。

お知らせ

約20秒間何も操作をしないと自動的にパネルが閉まり，調整されていた角度に戻ります。

パネルを閉じるときは

パネルが開いているときに，

本体の［OPEN］を1秒以上押す ....パネルが閉まり，調整されていた角度に戻ります。

本体の［OPEN］を押す ....パネルが全閉します。（角度調整が解除されます。）

本体のみ　センタースピーカーを開く

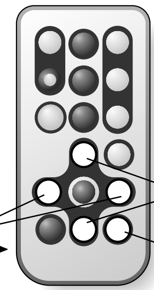
センタースピーカーが閉じていると，操作音（ボタンを押したときに出る音）以外の音が出ません。

本体の［スピーカーボタン］を押す。

- 押すごとに，センタースピーカーが開閉します。

お知らせ

- 出力のレベルは，センタースピーカー出力で調整します。(P.26 参照)
- センタースピーカーは，パネルの開閉に連動します。
- パネルが開いているときは，センタースピーカーの開閉ができません。



時計を調整する

時計は，24時間表示です。

① **時間調整モードにする**

［DISP］（CLOCK）を2秒以上押す。

お知らせ

- 電源が切れているときは，調整できません。
- 初めて調整するときは“ADJUST”の文字が点滅します。

② **時／分を切り替えて，調整する**

［TRACK ◀◀］：時間調整モードになり，時間表示が点滅します。
［TRACK ▶▶］：分調整モードになり，分表示が点滅します。
［DISC ∧］：時／分が進む
［DISC ∨］：時／分が戻る

③ **時刻を確定する**

［DISP］（CLOCK）を押す。

- 時計が動き始めます。

時計を表示させる

［DISP］を押して，切り替える。

電源が“入”のときは

※切り替わりかたは，ソースごとに異なります。

各サウンドソースの通常表示
↓
時計表示
↓
ドットスペアナ表示 ..文字表示部が，スペアナと同じような表示になる。
↓
MDタイトル表示（アルバム名，アーティスト名など）
↓
MDタイトル表示（曲名）
（→ 各サウンドソースの通常表示へ戻る）

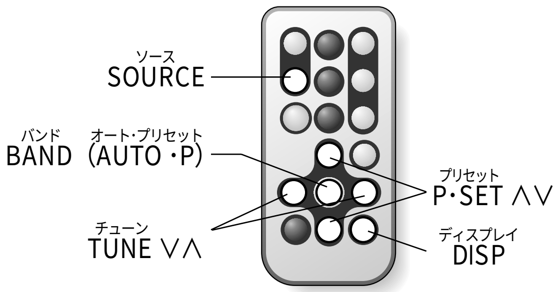
電源が“切”のときは

時計表示・スタンバイ表示
↓
時計表示のみ
↓
表示なし
（→ 時計表示・スタンバイ表示へ戻る）

お知らせ

時計が調整されていないときは，“ADJUST”の文字が表示されます。

ラジオを聴く



SOURCE を押して，

TUNER を選ぶ

● ラジオを受信します。

バンドを選ぶ

BAND を押して，切り替える。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2
↑_______________________|

放送局を選ぶ

TUNE ∧ ：周波数が上がる
TUNE ∨ ：周波数が下がる

選局のしかた

手動選局（順送り）

ボタンを **押す**。

● 周波数が 1 ステップずつ順送りされます。

自動選局（シーク）

ボタンを **0.5 秒以上押す**。

● ボタンをはなした時点から探し始め，放送局があるところで止まります。

放送局を記憶させておく

● 放送局を記憶させておくと，簡単にラジオが聴けます。
● FM，AM ともバンドごとに 6 局まで記憶できます。（最大 24 局）

1 局ずつ手動で記憶させる

プリセットメモリー

受信中のバンドで，お好みの放送局を記憶させることができます。

バンドを選んでから，

① **プリセットモードにする**

P・SET ∧ または
P・SET ∨ を
2 秒以上押す。

● プリセット番号が点滅します。

② プリセット番号を選ぶ

P・SET ∧ を押す。
（P・SET ∨ ：逆回り）

③ **放送局を選ぶ**

TUNE ∧ ：周波数が上がる
TUNE ∨ ：周波数が下がる

④ **記憶させる**

P・SET ∧ または
P・SET ∨ を
2 秒以上押す。

● プリセット番号の点滅が解除され，周波数が 1 回点滅します。

複数の放送局を一度に自動で記憶させる

オートプリセットメモリー

受信中のバンド内で受信状態のよい放送局を探し，自動的に記憶させることができます。

バンドを選んでから，

BAND（AUTO・P）を
2 秒以上押す。

● 一番下の周波数から放送局を探し始め，受信状態のよい順にプリセット番号 1 〜 6 へ記憶されます。
● 記憶が終わるとプリセット番号が点滅し，記憶された放送局が約 5 秒ずつ次々に呼び出されます。〈スキャン〉

スキャンを止めたいときは，

→ P・SET ∧ を押して，
プリセット番号 1 〜 6 を選ぶ。
（P・SET ∨ ：逆回り）

記憶させた放送局を呼び出す

プリセット受信

バンドを選んでから，

P・SET ∧ を押して，
プリセット番号 1 〜 6 を
選ぶ。
（P・SET ∨：逆回り）

● 現在のバンドで記憶されている放送局が呼び出され，受信します。

お知らせ

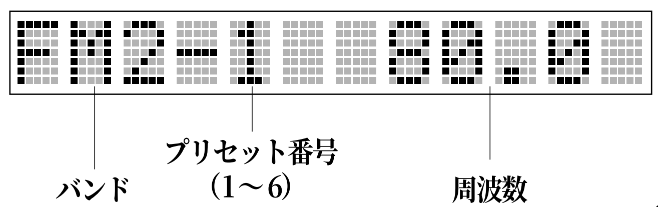
● FM ステレオ放送を受信すると，“ STEREO 表示 ” が点灯します。
● 「AM バーチャルステレオ」を設定すると，AM 放送にステレオ効果を与え，臨場感のある音声で楽しむことができます。（P.32 参照）

ディスプレイの表示を切り替える

DISP を押して，切り替える。

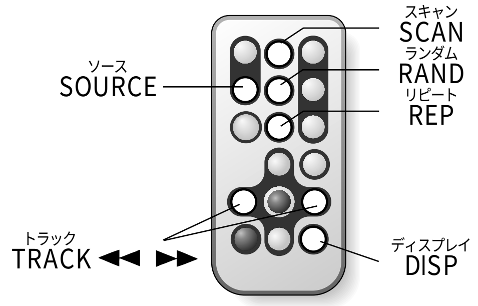
通常表示（バンド・プリセット番号・周波数）
↓
時計表示
↓
ドットスペアナ表示
（→ 通常表示へ戻る）

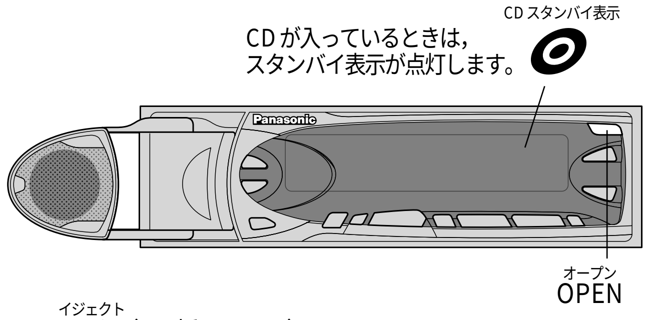
例）通常表示

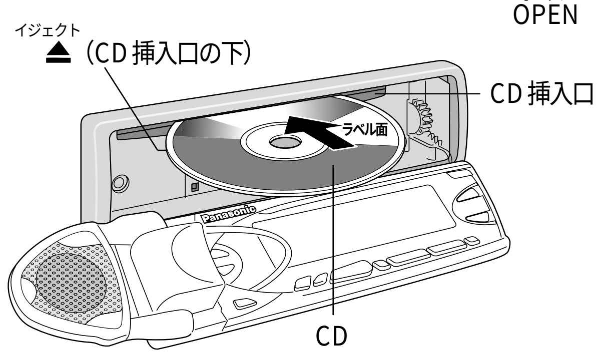


使いかた

CD を聴く RXのみ







本体の OPEN を押してパネルを開き，

CD を入れる

- CD を再生します。
- パネルが閉まり，最後に調整されていた角度に戻ります。

CD を取り出すときは

→ ▲ を押す

CD が入っているときは

→ SOURCE を押して **CD を選ぶ**

- CD モードになり，CD を再生します。

曲を選ぶ

TRACK ▶▶：次の曲を頭出しする

TRACK ◀◀：現在再生している曲から順に，前の曲を頭出しする

早送り/早戻しする

TRACK ▶▶：早送りする

TRACK ◀◀：早戻しする

0.5 秒以上押し続け，聴きたいところではなす。

⚠ 注意

可動部やディスク挿入口に手･指を入れない

禁止

可動部やディスク挿入口に手・指を入れると，けがや故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。

お願い

- パネルの開閉を妨げないでください。
- パネルが完全に開いているときは，無理な力をかけたり，パネル上のボタンを強く押さないでください。

お知らせ

- CD モードのときに CD を取り出すと，電源が切れます。
- 電源が切れているときに CD を入れると，電源が入ります。

いろいろな聴きかた

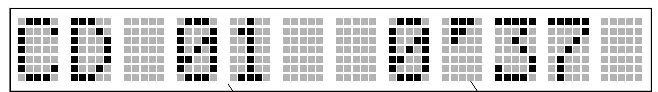
リモコンのみ **曲を探す** スキャンプレイ	ディスクの全曲が，約 10 秒ずつ次々に再生されます。	リモコンの SCAN を押す。 ● 再生経過時間が点滅します。 ● ひとまわりすると，もとの曲の頭から再生します。	解除したいときは → SCAN を押す。
リモコンのみ **順不同で聴く** ランダムプレイ	規則性のない曲順（ランダム）で再生されます。	リモコンの RAND を押す。 ● “ RAND 表示 ” が点灯します。	解除したいときは → RAND を押す。
リモコンのみ **くり返し聴く** リピートプレイ	現在聴いている曲が，くり返して再生されます。	リモコンの REP を押す。 ● “ REP 表示 ” が点灯します。	解除したいときは → REP を押す。

ディスプレイの表示を切り替える

DISP を押して，切り替える。

通常表示（曲番号・再生経過時間）
↓
時計表示
↓
ドットスペアナ表示
（→ 通常表示へ戻る）

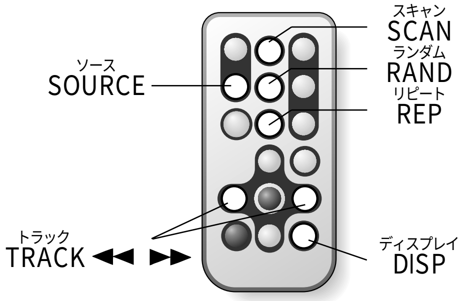
例）通常表示



曲番号　再生経過時間

使いかた

MD を聴く **MRのみ**



本体の OPEN を押してパネルを開き，

MD を入れる

- MD を再生します。
- パネルが閉まり，最後に調整されていた角度に戻ります。

MD を取り出すときは

→ ⏏ を押す

MD が入っているときは

→ SOURCE を押して **MD を選ぶ**

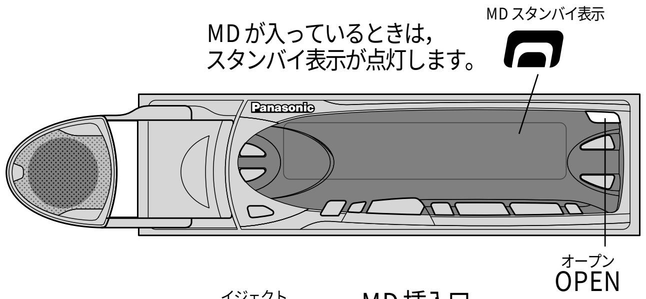
- MD モードになり，MD を再生します。

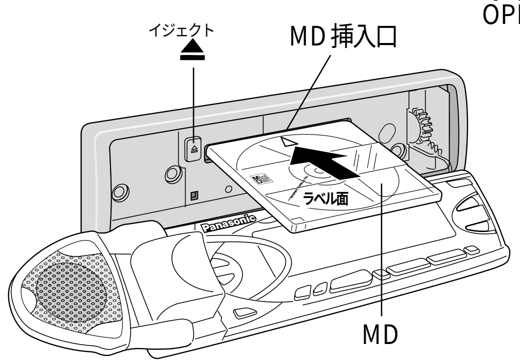
⚠ 注意

可動部やディスク挿入口に手･指を入れない

禁止

可動部やディスク挿入口に手・指を入れると，けがや故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。





曲を選ぶ

TRACK ▶▶：次の曲を頭出しする
TRACK ◀◀：現在再生している曲から順に，前の曲を頭出しする

早送り/早戻しする

TRACK ▶▶：早送りする
TRACK ◀◀：早戻しする

0.5 秒以上押し続け，聴きたいところではなす。

お願い

- パネルの開閉を妨げないでください。
- パネルが完全に開いているときは，無理な力をかけたり，パネル上のボタンを強く押さないでください。

お知らせ

- MD モードのときに MD を取り出すと，電源が切れます。
- 電源が切れているときに MD を入れると，電源が入ります。

いろいろな聴きかた

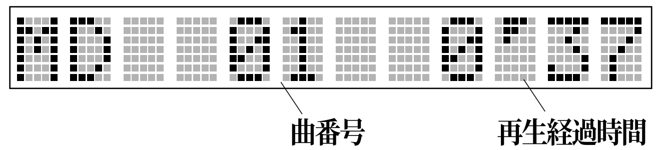
リモコンのみ **曲を探す** スキャンプレイ	ディスクの全曲が，約 10 秒ずつ次々に再生されます。	リモコンの SCAN を押す。 ● 再生経過時間が点滅します。 ● ひとまわりすると，もとの曲の頭から再生します。	解除したいときは → SCAN を押す。
リモコンのみ **順不同で聴く** ランダムプレイ	規則性のない曲順（ランダム）で再生されます。	リモコンの RAND を押す。 ● “ RAND 表示 ” が点灯します。	解除したいときは → RAND を押す。
リモコンのみ **くり返し聴く** リピートプレイ	現在聴いている曲が，くり返して再生されます。	リモコンの REP を押す。 ● “ REP 表示 ” が点灯します。	解除したいときは → REP を押す。

MD のタイトルを表示させる

MD タイトル対応

アルバム名や曲名などの情報が入力してある MD に対応し，カナ･英数字を表示します。

例）通常表示



DISP を押して，切り替える。

通常表示（曲番号・再生経過時間）
↓
時計表示
↓
ドットスペアナ表示
↓
MD タイトル表示（アルバム名，アーティスト名など）
↓
MD タイトル表示（曲名など）
（→ 通常表示に戻る）

お知らせ

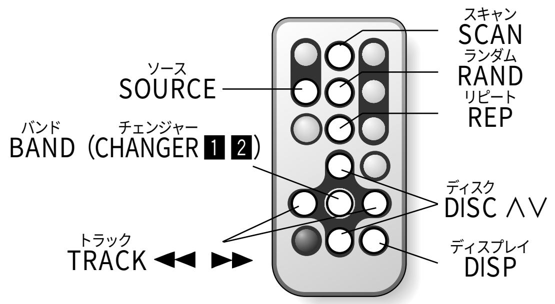
- タイトル情報が記録されていない MD のときは，“ NO TITLE ” と表示されます。
- MD タイトル表示は，文字を流したり・止めたりできます。（P.30 参照）
- MD タイトル表示が静止しているときは，一周だけ文字を流すことができます。〈再スクロール〉

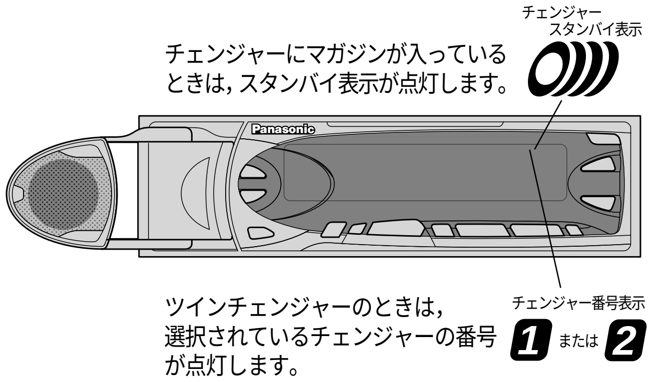
→ DISP を 2 秒以上押す

使いかた

チェンジャーで CD/MD を聴く

別売の CD チェンジャー（CX-DP1205D 等）または MD チェンジャー（CX-MD6D）を接続してください。





SOURCE を押して，

CHANGER を選ぶ

● ディスクを再生します。

お知らせ

“ NO　DISC ”の文字が表示されたときは，チェンジャー（マガジン）にディスクを入れてください。

ディスクを選ぶ

DISC ∧：次のディスクに替わる

DISC ∨：前のディスクに替わる

曲を選ぶ

TRACK ▶▶：次の曲を頭出しする

TRACK ◀◀：現在再生している曲から順に，前の曲を頭出しする

早送り/早戻しする

TRACK ▶▶：早送りする

TRACK ◀◀：早戻しする

0.5 秒以上押し続け，聴きたいところではなす。

2 台のチェンジャーで聴く

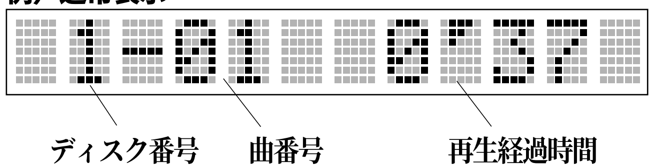
ツインチェンジャー

※ 別売のツイン CD チェンジャーコントロールユニット（CA-LA9D）で接続してください。

BAND（CHANGER 1 2）を押して，切り替える。

CHANGER 1　⟷　CHANGER 2

例）通常表示



お願い

ツインチェンジャーコントロールユニットに，チェンジャーを 1 台しか接続しない場合は，CHANGER 1 に接続してください。

お知らせ

チェンジャーにマガジンを入れると，

- 電源が切れているとき
  電源が入り，CHANGER モードになります。
- 他のサウンドソースのとき
  CHANGER モードに切り替わります。

MD のタイトルを表示させるときは

DISP を押して，切り替える。

詳細は，MD の項をご参照ください。
（P.19 参照）

いろいろな聴きかた

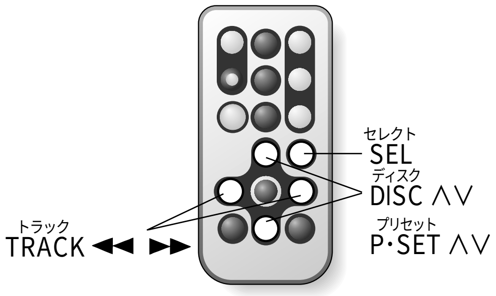
リモコンのみ 探　す	**曲を探す** スキャンプレイ	チェンジャー内のディスクの全曲が，約 10 秒ずつ次々に再生されます。	リモコンの SCAN を押す。 ● 再生経過時間が点滅します。 ● ひとまわりすると，もとの曲の頭から再生します。	解除したいときは → SCAN を押す。
	ディスクを探す ディスクスキャンプレイ	チェンジャー内のディスクの 1 曲目が，約 10 秒ずつ次々に再生されます。	リモコンの SCAN を 2 秒以上押す。 ● ディスク番号が点滅します。 ● ひとまわりすると，もとのディスクの頭から再生します。	解除したいときは → SCAN を 2 秒以上押す。
リモコンのみ 順不同で聴く	**全てのディスクから選曲される** ランダムプレイ	チェンジャー内のディスクの全曲から，規則性ない曲順で（ランダム）再生されます。	リモコンの RAND を押す。 ●“ RAND 表示 ”が点灯します。	解除したいときは → RAND を押す。
	1 枚のディスクから選曲される ディスクランダムプレイ	現在聴いているディスクが，規則性のない曲順で（ランダム）再生されます。	リモコンの RAND を 2 秒以上押す。 ●“ RAND 表示 ”が点滅します。	解除したいときは → RAND を 2 秒以上押す。
リモコンのみ くり返し聴く	**曲をくり返す** リピートプレイ	現在聴いている曲が，くり返して再生されます。	リモコンの REP を押す。 ●“ REP 表示 ”が点灯します。	解除したいときは → REP を押す。
	ディスクをくり返す ディスクリピートプレイ	現在聴いているディスクが，くり返して再生されます。	リモコンの REP を 2 秒以上押す。 ●“ REP 表示 ”が点滅します。	解除したいときは → REP を 2 秒以上押す。

使いかた

サウンド・音場を設定する

サウンド設定の項目は，以下のように切り替わります。

通常モード → HUMAN EQ → GRAPHIC EQ → BAL//FAD
↑ ↓
CENTER LEVEL ← SDBB SELECT ← SUPER BASS ← POSITION SEL



1 項目を選び，

SEL を押して項目を選ぶ。

2 設定する。

お知らせ

約 10 秒間何も操作をしないと，通常モードに戻ります。

音楽や気分に合った音質を選ぶ

HEQ（ヒューマンイコライザー）

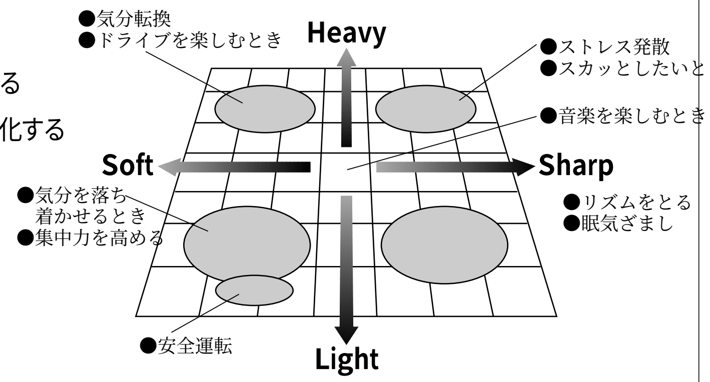
49 パターンの中から音質を選べ，複雑なイコライザー調整が簡単にできます。

初期設定：FLAT（0）
調整範囲：各 1 ～ 3
（49 種類）

HUMAN EQ を選び

- DISC ∧ （HEAVY）：豊かな低音に変化する
- DISC ∨ （LIGHT）：軽快な低音に変化する
- TRACK ◀◀ （SOFT）：柔らかな高音に変化する
- TRACK ▶▶ （SHARP）：歯切れのよい高音に変化する

● 調整中は“ EQ 表示 ”が点滅し，設定されると点灯します。



自分好みに調整した音質を，記憶させておく

GEQ（グラフィックイコライザー）

低音から高音までを 7 つの周波数帯域に分け，各々のレベルを調整できます。
調整した音質は，5 種類まで記憶させることができます。

初期設定：各周波数とも 0
調整範囲：－ 12 ～ ＋ 12
1 ステップは，2dB ごと

GRAPHIC EQ を選び

P･SET ∧ を押して，プリセット番号（1 ～ 5）を選ぶ。
（ P･SET ∨ ：逆回り）

● 記憶されている音質が，呼び出されます。

記憶させるには

プリセット番号（1 ～ 5）を選んでから，

① SEL を 1 秒以上押して，**GEQ プリセットモード** にする。

② **周波数ごとに，レベルを調整する。**

TRACK ▶▶ を押して，周波数を選ぶ。（ TRACK ◀◀ ：逆回り）

80 → 160 → 320 → 640 → 1.6 k → 4 k → 10 k（Hz）

DISC ∧ ：レベルが上がる
DISC ∨ ：レベルが下がる

● 調整中は“ EQ 表示 ”が点滅します。

③ SEL を押して，記憶させる。

● 記憶されると“ EQ 表示 ”が点灯します。

おすすめ設定を呼び出すには

こもりやすい低音域をカットした聴きやすい音質を，簡単に呼び出せます。

P･SET ∧ を押して，
プリセット番号“ 6 ”を選ぶ。
（ P･SET ∨ ：逆回り）

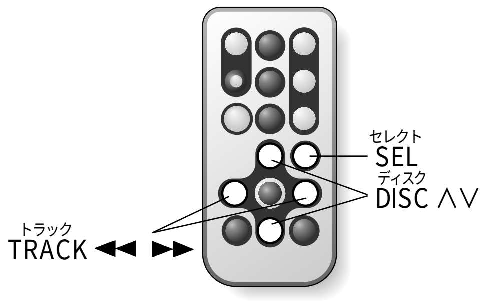
お知らせ

プリセット番号“ 6 ”には，記憶できません。

サウンド・音場を設定する

サウンド設定の項目は，以下のように切り替わります。

通常モード → HUMAN EQ → GRAPHIC EQ → BAL//FAD
↓
POSITION SEL → SUPER BASS → SDBB SELECT → CENTER LEVEL → 通常モード



1 項目を選び，

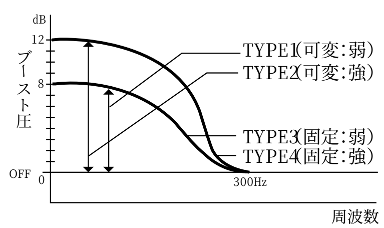
SEL を押して項目を選ぶ。

2 設定する。

お知らせ

約10秒間何も操作をしないと，通常モードに戻ります。

		1	2
前後左右の音量バランスを調整する バランス／フェダー	スピーカーの音量バランスを調整できます。 初期設定：B：CNT(センター) F：CNT(センター) 設定範囲：各15	BAL//FAD を選び	DISC ∧ (FRONT)：前方を強調する DISC ∨ (REAR)：後方を強調する TRACK ◀◀ (LEFT)：左側を強調する TRACK ▶▶ (RIGHT)：右側を強調する
乗車位置に合わせた音像にする ポジション	音像を，聴く人のいる位置に合わせて調整できます。 初期設定：POSI OFF	POSITION SEL を選び	TRACK ▶▶ を押して，切り替える。(TRACK ◀◀：逆回り) OFF ....全席 ↓ RIGHT ....前席・右 ↓ LEFT ....前席・左 ↓ FRONT ....前席 ↓ REAR ....後席 ●設定されると“POSI 表示”が点灯します。
リヤースピーカーをサブウーファーとして活用する SBC-SW(スーパーベースコントロール・サブウーファー)	内蔵アンプに接続したリヤースピーカーを，低音域だけ出力するサブウーファーとして活用できます。 初期設定：SBC-SW OFF	SUPER BASS を選び	TRACK ◀◀ (SBC-SW OFF)：通常に出力する（ステレオ） TRACK ▶▶ (SBC-SW ON)：低音域だけを出力する（モノラル） **SBC-SW を“ON”にしたら** ●出力のレベルをサブウーファー出力で調整します。（P.28 参照 メインイン／プリアウト〈リヤー〉にも連動します。 ●リヤースピーカーの出力に対する BAL//FAD，POSITION，SDBB，SPACE の設定が無効になります。
低音域を増強する SDBB（スーパー・ダイナミック・バス・ブースト）	内蔵アンプに接続した4スピーカーから出力される低音域を増強し，重低音が楽しめます。 メインイン／プリアウト〈フロント，リヤー〉にも連動します。 初期設定：SDBB OFF	SDBB SELECT を選び	TRACK ▶▶ を押して，切り替える。(TRACK ◀◀：逆回り) SDBB OFF ......通常に出力する（低音域を増強しない） ↓ SDBB TYPE 1 ....可変・弱 ↓ SDBB TYPE 2 ....可変・強 ↓ SDBB TYPE 3 ....固定・弱 ↓ SDBB TYPE 4 ....固定・強 ●可変：低音を音量に合わせて増強する。バランスよい低音になる。 ●固定：低音を設定された幅で増強する。とにかく迫力がある低音になる。

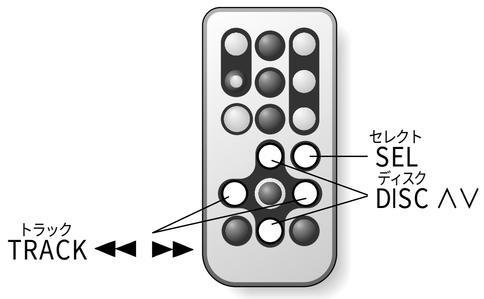


使いかた

サウンド・音場を設定する

サウンド設定の項目は，以下のように切り替わります。

通常モード → HUMAN EQ → GRAPHIC EQ → BAL//FAD
↑ ↓
CENTER LEVEL ← SDBB SELECT ← SUPER BASS ← POSITION SEL



1 項目を選び，

① SEL を押して
CENTER LEVEL を選び，

2 設定する。

② 設定する項目に切り替える。
TRACK ▶▶（SP - LEVEL）：音量を調整する
TRACK ◀◀（SP - DELAY）：距離感を調整する

お知らせ
約 10 秒間何も操作をしないと，通常モードに戻ります。

中音域をはっきりさせる

センタースピーカー出力

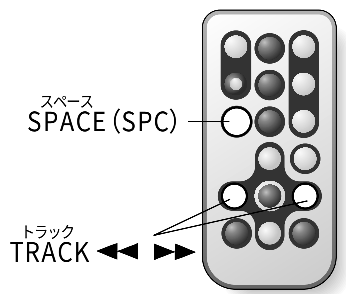
音像が引き上げられ，前方の中心付近に定位します。

調整の手順

センタースピーカーを開いてください。（P.12 参照）

1. **センタースピーカーの音量を調整する**
センタースピーカーに DSP 効果を付加しない（センタースピーカー ディレイ時間.....0，音場設定.....SPACE OFF）で，ヴォーカル等の中音域が前方の中央付近に定位するように調整してください。
2. **音場の設定や，センタースピーカー ディレイ時間を調整する**
3. **センタースピーカーの音量を再調整する**
音場の設定に合わせて，音量を再調整してください。

音量を調整する センタースピーカー 音量レベル 初期設定：SP - LEVEL 0 調整範囲：－∞，－10 ～ ＋10 1 ステップは，2 dB ごと	CENTER LEVEL を選び	DISC ∧ ：レベルが上がる DISC ∨ ：レベルが下がる －∞ ：センタースピーカーから音が出なくなる。
距離感を調整する センタースピーカー ディレイ時間 センタースピーカーの音が耳に届くタイミングに時差（ディレイ）を与え，音像が前方の中央付近に定位するようにします。 初期設定：SP - DELAY 0 調整範囲：－10 ～ ＋10 1 ステップは，0.3 ms （0.0003 秒）ごと	CENTER DELAY を選び	DISC ∧ ：＋（プラス）方向 ディレイ時間が長くなり，音像が遠くなる。 （センタースピーカーの出力タイミングが遅くなる。） DISC ∨ ：－（マイナス）方向 ディレイ時間が短くなり，音像が近くなる。 （センタースピーカーの出力タイミングが早くなる。） 0 ：他のスピーカーとセンタースピーカーの出力タイミングが同じになる。



音場を再現する

SPACE（スペース）

実際に演奏会場にいるような音場（スペース）を車室内に再現できます。

初期設定： SPACE OFF

① SPACE (SPC) を押して **SPACE モード** にし，

② TRACK ▶▶ を押して，**切り替える**。（TRACK ◀◀ ：逆回り）

SPACE OFF → LIVE HOUSE → CONCERT HALL
↑ ↓
CINEMA JAZZ CLUB
↑ ↓
VOCAL ← DISCO ← STADIUM

● 設定中は“ SPACE 表示 ”が点滅し，設定されると点灯します。

お知らせ
本体の SPACE (SPC) は，センタースピーカーの内側のパネル面にあります。
→本体の ◁ を押し，センタースピーカーを開いて操作してください。

● 約 10 秒間何も操作をしないと，通常モードに戻ります。
● 音場はサウンドソースごと（FM，AM，CD，MD，CHANGER，AUX IN）に設定できます。

使いかた

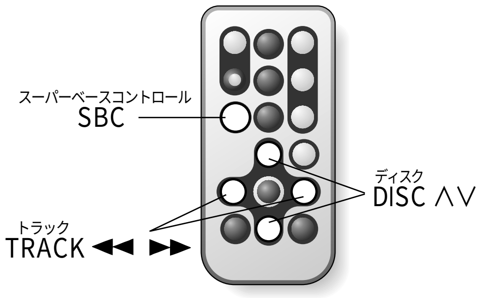
サウンド・音場を設定する

サブウーファー出力の調整は，リヤースピーカーをサブウーファーとして活用する場合に有効となります。（P.24 参照： SBC-SW の設定を " ON " にしてください。）

お知らせ

本体の［SBC］は，センタースピーカーの内側,のパネル面にあります。
→本体の［⊿］を押し，センタースピーカーを開いて操作してください。

● 約 10 秒間何も操作をしないと，通常モードに戻ります。



1 サブウーファー出力モードにして，

［SBC］を 2 秒以上押す。

2 項目を選び， 3 調整する。

［TRACK ▶▶］を押して項目を選ぶ。
（［TRACK ◀◀］：逆回り）

サブウーファー出力を調整する

DDBC（デジタル·ダイナミック·ベース·コントロール）

- 内部アンプの音量バランス調整（フェダー：P.24 参照）で変化しません。
- 調整中は " SUB·W 表示 " が点滅し，設定されると点灯します。

サブウーファー出力の調整は，以下の出力に連動します。

- リヤースピーカーをサブウーファーとして活用する出力（SBC-SW が " ON "）
- メインイン／プリアウト〈リヤー〉

音量を調整する

DDBC 音量レベル

初期設定：SW - LEVEL 0
調整範囲：－∞，－ 10 ～ ＋ 10
1 ステップは，2dB ごと

［DDBC LEVEL］を選び

［DISC ∧］：レベルが上がる
［DISC ∨］：レベルが下がる
－∞ ：プリアウトに接続したアンプから音が出なくなる。

距離感を調整する

DDBC ディレイ時間

スピーカーとサブウーファーの音が耳に届くタイミングに時差（ディレイ）をなくして，量感のある重低音を再生します。

初期設定：SW - DELAY 0
調整範囲：－ 10 ～ ＋ 10
1 ステップは，0.3 ms（0.0003 秒）ごと

［DDBC DELAY］を選び

［DISC ∧］：＋（プラス）方向
ディレイ時間が長くなる。
（サブウーファーの出力タイミングが遅くなる。）
［DISC ∨］：－（マイナス）方向
ディレイ時間が短くなる。
（サブウーファーの出力タイミングが早くなる。）
0 ：スピーカーとサブウーファーの出力タイミングが同じになる。

● 調整中は " DELAY 表示 " が点滅し，設定されると点灯します。

低音の厚みを調整する

DDBC カットオフ周波数

出力する低域周波数の上限（カットオフ周波数）を調整し，音の濁りやひずみを防ぎます。

初期設定：FREQ. OFF

［FREQ. SELECT］を選び

［DISC ∧］を押して，切り替える。（［DISC ∨］：逆回り）

OFF → 100 → 150 → 200（Hz）

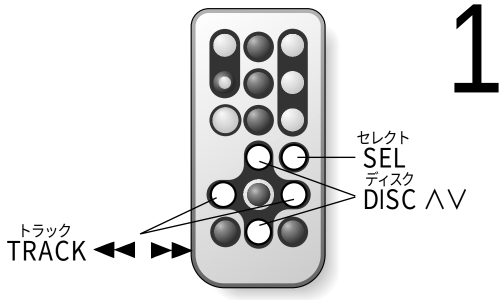
OFF ： 高音域をカットしない通常の出力。

使いかた

その他の機能を設定する

機能コントロール設定の項目は，以下のように切り替わります。

通常モード → SIGNAL SEL → MUTING SEL → SPEANA SPEED → MUTE KEY SEL → TITLE SCROLL
↓
AM V·ST SEL → CONTRAST SEL → DVD IN SET → TILT SELECT →（SIGNAL SEL へ戻る）



1 項目を選び，

① SEL を2秒以上押して**機能コントロールモード**にし，

② SEL を押して項目を選ぶ。

2 設定する。

TRACK ▶▶ を押して，切り替える。（TRACK ◀◀ ：逆回り）

お知らせ

約10秒間何も操作をしないと，通常モードに戻ります。

操作を音で楽しむ
シグナル音／ビープ音

ボタンを押したときにセンタースピーカーから出る音（操作音）を選べ，音量レベルも調整できます。

初期設定：SIGNAL SOUND
SIGNAL LEV3

SIGNAL SEL を選び

操作音が
- SIGNAL SOUND ....〈シグナル音〉（操作ごとに違う音）になる。
- SIGNAL BEEP 1 ....〈ビープ音 1〉になる。
- SIGNAL BEEP 2 ....〈ビープ音 2〉になる。
- SIGNAL BEEP 3 ....〈ビープ音 3〉になる。
- SIGNAL OFF ......〈無音〉になる（出なくなる）。

音量レベルを調整するときは

DISC ∧ ：レベルが上がる
DISC ∨ ：レベルが下がる
（調整範囲：LEV1 〜 LEV3）

お知らせ

オープニング·エンディング音は，SIGNAL SOUND のときのみ出ます。

ナビの音声案内を聴きやすくする
ナビミュート

※ 別売のカーナビゲーション（CN-DV2520ⅠD等）を接続したときに有効な機能です。

ナビの音声案内における本機の音量の下がりかたを，お好みに合わせて選べます。

初期設定：MUTING ON

MUTING SEL を選び

- MUTING ON .....ナビの音声案内のとき，本機の音量が 0（無音）になる。
- MUTING HALF ...ナビの音声案内のとき，本機の音量が約 1/2 に下がる。
- MUTING OFF .....ナビの音声案内のときも，本機の音量は通常のまま変わらない。（音量が調整できる）

● ナビが音声案内しているときは，ナビミュートの設定状態（“MUTING ＊＊＊＊”の文字）が表示されます。

スペアナ表示の動きの速さを変える
スペアナスピード

スペアナ表示の動きの速さを選べます。

初期設定：SPEANA FAST

SPEANA SPEED を選び

- SPEANA FAST ....スペアナ表示の動きが速くなる。
- SPEANA SLOW ...スペアナ表示の動きが遅くなる。

MUTE(ATT)ボタンの機能を選ぶ
MUTE ボタン設定

MUTE（ATT）ボタンを押したときの音量の下がりかたを選べます。

初期設定：MUTE KEY

MUTE KEY SEL を選び

- MUTE KEY .....音量の下がりかたが，0（無音）〈MUTE〉になる。
- ATT KEY .....音量の下がりかたが，約 1/10〈ATT〉になる。

タイトルを流して表示させる
タイトルスクロール

MD のタイトルは，連続してスクロールさせたり，静止させて表示できます。

初期設定：SCROLL ON

TITLE SCROLL を選び

- SCROLL ON ....表示が連続してスクロールする。
- SCROLL OFF ....表示を一周スクロールしたあと，静止する。

お知らせ

スクロールが止まっているときには，表示を一周だけスクロールすることができます。〈再スクロール〉

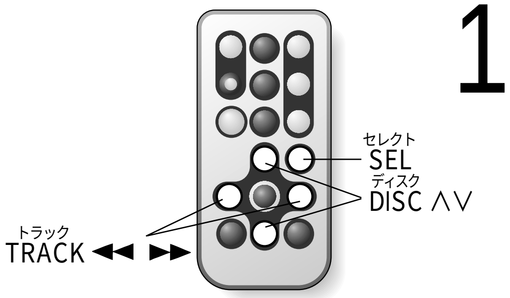
→ DISP を2秒以上押す。

使いかた

その他の機能を設定する

機能コントロール設定の項目は，以下のように切り替わります。

通常モード → SIGNAL SEL → MUTING SEL → SPEANA SPEED → MUTE KEY SEL → TITLE SCROLL → AM V･ST SEL → CONTRAST SEL → DVD IN SET → TILT SELECT → SIGNAL SEL



1 項目を選び，

① SEL を2秒以上押して**機能コントロールモード**にし，

② SEL を押して項目を選ぶ。

2 設定する。

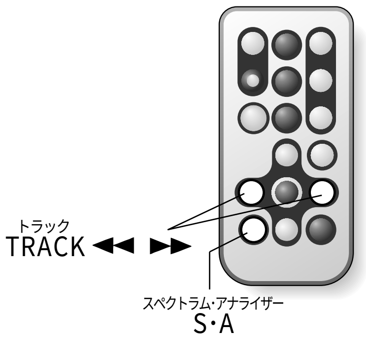
TRACK ▶▶ を押して，切り替える。（TRACK ◀◀ ：逆回り）

お知らせ

約10秒間何も操作をしないと，通常モードに戻ります。

AM放送にステレオ効果を与える AMバーチャルステレオ **※通常のAMステレオ放送の受信とは異なります。**	AM放送にステレオ効果を与え，臨場感ある音声で楽しむことができます。 初期設定：AM V･ST OFF	AM V･ST SEL を選び	AM V･ST OFF ….AM放送を通常の音声で聴く。 ↓ AM V･ST ON ……AM放送にステレオ効果を与えて聴く。 **※AM放送を受信しているときのみ，切り替えられます。**	**お知らせ** 音場の設定（SPACE）が優先されます。（P.26参照）
表示を見やすくする コントラスト	ディスプレイのコントラスト（陰･陽部分の差）を調整すると，表示が見やすくなります。（5段階） 初期設定：CONTRAST Lv 3 調整範囲：Lv 1～Lv 5	CONTRAST SEL を選び	TRACK ▶▶：レベルが上がる TRACK ◀◀：レベルが下がる レベルが大きいほど，コントラストの差がはっきりします。	
コードの入出力を切り替える DVD IN 設定 ●設定中は“THRU表示”が点滅します。 ●設定が“ON”のときは，“THRU表示”が点灯します。	メインイン／プリアウトコード〈フロント，リヤー〉は，入出力兼用です。接続する機器に合わせて，設定を切り替えてください。 初期設定：DVD IN OFF	DVD IN SET を選び	DVD IN OFF …..出力（プリアウト）になる。 ●別売の外部アンプを接続している場合 ●何も接続していない場合 ↓ DVD IN ON …..入力（メインイン）になる。 ●別売のデジタルサラウンドプロセッサー（CY-AC300D）を接続している場合（P.37，48～49参照）	**お知らせ** **CY-AC300Dを接続している場合だけ，設定を“ON”にしてください。**
パネルの角度を変えないで使う チルト設定	パネルの角度を調整せずにご使用になるための，設定です。（P.12参照） 初期設定：TILT ON	TILT SELECT を選び	TILT ON …….パネルの角度を調整できる。 ↓ TILT OFF ……パネルの角度を調整できない。	

使いかた



お知らせ

本体の [S·A] は，センタースピーカーの内側,のパネル面にあります。
→本体の [◁] を押し，センタースピーカーを開いて操作してください。

- 約 1 0 秒間何も操作をしないと，通常モードに戻ります。
- デモモードのときは操作できないことがあるので，スペアナ表示を切り替えてください。
- ドットスペアナ表示は，パターンの切り替えや変化させることができません。

スペアナ表示を切り替える

（1 2 種類）

初期設定：
DEMO（デモモード）

① [S·A] を押して **スペアナモード** にし，

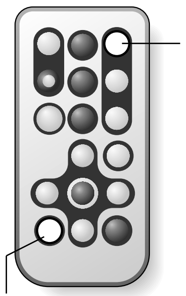
② [TRACK ▶▶] を押して，**切り替える。**
（[TRACK ◀◀] ：逆回り）

- “ SPEANA　SEL ” の文字が表示されます。

❶ DEMO .... すべてのスペアナ表示を順番にデモンストレーションする。(デモモード)
↓
❷ WAVE .... スペースファンタジーの幕開けを予感させるシンプルなスペアナ。
↓
❸ AURORA .... 天にかかるオーロラのイメージ。
↓
❹ MILKY　WAY .... 宇宙空間に流れる雄大な天の川をイメージ。
↓
❺ TWINKLE　STAR .... 無数の星の瞬く瞬間をイメージ。
↓
❻ SUN .... サンサンと降りそそぐ暖かさをイメージ。
↓
❼ SPC　SARGASSO .... 漂流する星のかけらの果てしない旅をイメージ。
↓
❽ PROMINENCE .... 太陽の表面で燃え上がる炎をイメージ。
↓
❾ METEOR .... 無限に広がる宇宙空間を駆け巡る，流星群をイメージ。
↓
❿ SPACE　FEVER .... ある周波数の一定のレベルをキャッチすると，スロットがフィーバー目指して回る。
↓
⓫ BLANK　SPEANA .... スペアナ表示だけを消灯する。
↓
⓬ ALL　DISP　OFF .... ディスプレイ全体を消灯する。
※ 操作をすると点灯し，操作を終えたあと（約 5 秒後）に再び消灯します。

（⓬ から ❶ に戻る）

便利な機能



お知らせ

本体の［DIMMER］は，センタースピーカーの内側のパネル面にあります。

→本体の［ ］を押し，センタースピーカーを開いて操作ください。

ディスプレイを明るくする

ディマー

車のライトが点灯時／消灯時のディスプレイの明るさを設定できます。

初期設定：
ライト点灯時　....DIMMER　LEV2
ライト消灯時　....DIMMER　LEV3
調整範囲：LEV1 ～ LEV3

① ［DIMMER］を 2 秒以上押して**ディマーモード**にし，
- “ DIMMER　SEL ” の文字が表示されます。

② ［DIMMER］を押して，**切り替える。**

本体で操作するときは，［DIMMER］を押して，切り替える。

DIMMER　LEV3　...照明が，明るくなる。
↓
DIMMER　LEV2　...照明が，中間の明るさになる。
↓
DIMMER　LEV1　...照明が，暗くなる。

一時的に音量を下げる

ミュート／アッテネータ

MUTE（ATT）ボタンを押すと，一時的に本機の音量が下がります。

※ **音量の下がりかたは，設定（MUTE または ATT）によって異なります。**（P.30 参照）

初期設定：MUTE　OFF

［MUTE］（ATT）を押す。

- ボタンを押すごとに，以下のように切り替わります。
- ミュート／アッテネータが “ ON ” のときは “ MUTE 表示 ” が点滅します。

設定が “ MUTE ” のときは

MUTE　OFF.....通常の音量。
↕
MUTE　ON　.....本機の音量が 0（無音）になる。

設定が “ ATT ” のときは

ATT　OFF.......通常の音量。
↕
ATT　ON　.......本機の音量が 約 1/10 に下がる。

ブラックライトでパネルの色の変化を楽しむ

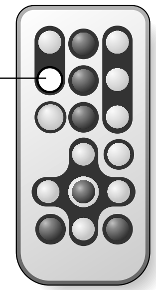
※ 別途購入・取り付けが必要です。

ブラックライトをあてるとパネル全体が鮮やかなディープブルーに光り，浮かび上がります。

お願い

ブラックライトを取り付けるときは，本機から 20 cm 以上離してください。ラジオのノイズや誤動作の原因になります。

デジタルサラウンドプロセッサーを接続したら（CY-AC300D：別売）



※ **本機のセンタースピーカーを，5.1ch サラウンドシステムのセンタースピーカーとして活用できます。**

DVD ビデオを楽しむには，別売の DVD カーナビゲーション（CN-DV2520ⅠD 等）の接続も必要です。（P.48 ～ 49 参照）

必ず，CY-AC300D 前面の ANALOG-IN 端子と本機後面のプリアウトコード（PRE-OUT FRONT）を，別売の RCA コードで接続してください。

準備

① **DVD IN 設定を “ ON ” にする（P.32 参照）**
“ THRU 表示 ” が点灯します。

② **CY-AC300D へのアナログ入力レベルを調整する**
CY-AC300D の “ OVER インジケーター ” が点灯しないように，本機で音量を調整します。

お願い

CY-AC300D をご使用にならない場合は
- CY-AC300D を取りはずし，必ずシステムを組みなおしてください。
- DVD IN 設定は，“ OFF ” にしてください。

お知らせ

アナログ入力レベルが正しく調整されていないと，音が小さすぎたり，歪んだりすることがあります。

- **アナログ入力レベルを調整が終わったら，以降のシステム全体の音量は CY-AC300D で調整します。**
- **サウンド・音場は CY-AC300D で設定するため，本機で設定したサウンド・音場設定は無効になります。**
- **CY-AC300D への入力ソースは，本機で切り替えます。（DVD を除く）**

詳細は，CY-AC300D の取扱説明書をご参照ください。

お手入れ，ディスクの取り扱い

本機のお手入れ

■ 本機が汚れたら

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は，その注意書に従ってください。

■ お手入れのお願い

ベンジン，シンナー類を使わないでください。ケースや塗装が変質します。

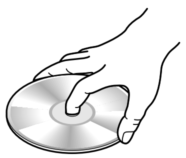
CD（コンパクトディスク）について

■ 使用できる CD

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入っているものを，ご使用ください。

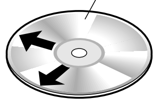
■ 持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ってください。



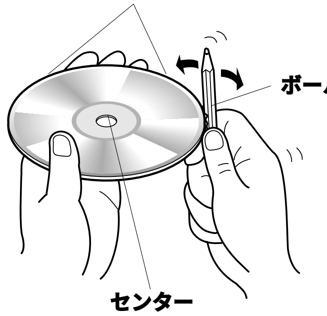
■ CD が汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと，乾いた布で拭いてください。



■ 新しい CD を聴くときは

バリを取り除いてください。動作しないことがあります。



⚠ 注意

特殊形状の CD や CD アクセサリーは使用しない

禁止

ハート型や八角形など特殊形状の CD や，プロテクトフィルムやスタビライザーなどの CD アクセサリーを使用すると，故障の原因になります。

■ 取り扱いのお願い

CD そのものの破損，および機器の故障の原因になることがありますので，次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
- CD が回転する方向に拭かない
- ベンジン，シンナー，レコードクリーナー，静電防止剤で拭かない
- CD を曲げない，キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- 紙やシールを貼らない
  本機の中で引っかかり，故障の原因になります。

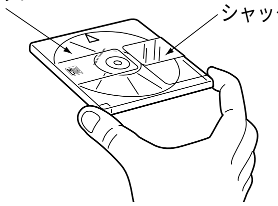
MD（ミニディスク）について

■ 使用できる MD

録音済みの音楽用 MD をご使用ください。

■ MD が汚れたら

カートリッジの表面に汚れやゴミがついたときは，乾いた布で拭いてください。



■ 取り扱いのお願い

MD そのものの破損，および機器の故障の原因になることがありますので，次のことをお守りください。

- シャッターを開けない
  無理に開けると破損することがあります。
  中の円盤には，直接手を触れないでください。
- 指定外の場所にラベルを貼らない
- ラベルのはがれかかった MD は使用しない
  本機の中で引っかかり，故障の原因になります。

CD･MD の保管

■ 長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため，必ずケースに入れて保管してください。

■ 次のような場所に置かない

- 長時間直射日光のあたるところ
  （車のシート，ダッシュボードの上など）
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接あたるところ

故障？と思ったら

故障と思われる前に

以下の表に従って確認・処置をしてください。

万一，異常を感じたら

すぐに電源を切ってください。
電源接続をはずして，煙が出ていないこと・熱くないことを確認してから，修理をご依頼ください。お客様による修理は，危険ですから絶対におやめください。

⚠ 注意

故障や異常のまま使用しない

禁止

音が出ない，煙が出る，変なにおいがする等の異常な状態で使用すると，発火・感電の原因になります。直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

■ 共通

症　状	原　因	確　認　・　処　置	参照ページ
電源が入らない。	車のエンジンスイッチが入っていない。	車のイグニッションスイッチを“ACC”または“ON”にしてください。	11
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	45～49
	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを，常時通電している端子に接続してください。	45
	アクセサリー電源コードが正しく接続されていない。	アクセサリー電源コードを，車のACC電源に接続してください。	45
	アースコードが正しく接続されていない。	アースコードを，車体の金属部に接続してください。	45
	ヒューズが切れている。	お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にヒューズの交換をご依頼ください。	53
音が出ない。	ミュートが“ON”になっている。	“OFF”にしてください。	36
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	45～49
	ナビミュートコードが正しく接続されていない（MUTINGの文字が表示されている）	ナビミュートコードを正しく接続してください。	45 48～49
	DVD IN 設定が正しくない。	CY-AC300Dを接続しているかどうかによって，正しく設定してください。	32，37 48～49
	結露している。	しばらく放置してからご使用ください。	—
ボタン操作ができない。	スペアナ表示がデモモードになっている。	デモモード以外の表示に切り替えてから操作してください。	34
時計が調整できない。	電源が入っていない。	[POWER (PWR)] を押して，電源を入れてから調整してください。	11

■ パネル

症　状	原　因	確　認　・　処　置	参照ページ
パネルの角度を調整できない。	角度を変えない設定になっている。	チルト設定を“ON”にしてください。	32

■ ラジオ

症　状	原　因	確　認　・　処　置	参照ページ
FMステレオ放送，モノラル放送ともノイズが多い。	放送局が遠かったり，放送電波が弱い。	電波の強い他の放送局を選局してください。	14
プリセットしたはずの放送局が，解除されている。	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを，常時通電している端子に接続してください。	45

■ CD／MD

症　状	原　因	確　認　・　処　置	参照ページ
CD/MDを挿入しても音が出ない。	CD/MDが裏返し。	ラベル面を上側にして，正しい方向で入れてください。	16，18
	MDの挿入方向が違う。		
	CD/MDが汚れている。	“ディスクの取り扱い”の項をご参照のうえ，CD/MDのクリーニングをしてください。	38，39
	データ用MDまたはブランクMDである。	音楽用MDまたは音楽が録音されているMDをご使用ください。	39
CD/MDの音がとぶ。音質が悪い。	CD/MDが汚れている。	“ディスクの取り扱い”の項をご参照のうえ，CD/MDのクリーニングをしてください。	38，39
振動により音がとぶ。	取り付け角度が30°を超えている。	取り付け角度を30°以内に調整してください。	50
	取り付けかたが不安定。	“取り付けのしかた”を参考にして，本機と取り付け金具などをしっかり固定してください。	50
CD/MDがイジェクトしない。	● CD/MDの不良。 ● メカの不良。	パネルを開けて [▲] を押してください。 動作しないときは，リセットスイッチを押してください。 それでも正常に戻らない場合は，お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」に修理をご依頼ください。	16，18 44 53

故障？と思ったら

■ サウンド設定

症　状	原　因	確　認　・　処　置	参照ページ
左右前後の何れかの音が出ない。	左右前後のバランス調整が片方に寄っている。	BAL/FAD を適切に調整してください。	24
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	45～49
ステレオのとき，左右の音が逆になる。	スピーカーコードの接続が逆になっている。	スピーカーコードを正しく接続してください。	45～49
センタースピーカーから音が出ない。	センタースピーカーが閉じている。	センタースピーカーを開いてください。	12
	CSP 音量レベルが−∞ に設定されている。	CSP 音量レベルを−∞ 以外にしてください。	26
リヤースピーカーから低音，またはモノラル音声しか出ない。	SBC-SW が“ON”に設定されている。	SBC-SW を“OFF”に設定してください。	24
リヤースピーカー，メインイン／プリアウト〈リヤー〉から音が出ない。	SBC-SW が“ON”で，DDBC 音量レベルが−∞ に設定されている。	DDBC 音量レベルを−∞ 以外にしてください。	28

■ CY-AC300D 接続時

症　状	原　因	確　認　・　処　置	参照ページ
音が入り混じって聴こえる。	DVD IN 設定が“OFF”になっている。	DVD IN 設定を“ON”にしてください。	32，37
アナログ入力をサラウンド再生したときに，音が小さくなる。	モノラル信号（AM，FM，一部の音楽 CD）では，サラウンド再生ができない。	設定を DSE 効果（音場設定）にし，“STEREO 4 SP”または“DSE 1～3”に切り替えてください。	CY-AC300D 取扱説明書

■ リモコン

症　状	原　因	確　認　・　処　置	参照ページ
ボタンを押しても動作しない。	電池の極性(＋)(－)が逆になっている。	電池を正しく入れてください。	7
	電池の種類が正しくない。	電池を確認してください。	7
	電池が消耗している。	電池を交換してください。	7
	リモコンの方向が正しくない。	パネルの REMOTE（リモコン受光部）に向けて操作してください。	8

こんな表示が出たら

■ CD/MD

表　示　例	原　因	動　作	確　認　・　処　置
CD　– E1 – MD　– E1 –	●ディスクが汚れている，裏返しになっている。 ●挿入した MD が，データ用または録音されていない。	自動的に，イジェクトされることがあります。	ディスクを確認してください。
CD　– E2 – MD　– E2 –	ディスクにキズがついている。		
CD　– E3 – MD　– E3 –	何らかの原因で動作しない。	――	パネルを開けて ⏏ を押してください。 動作しないときは，リセットスイッチを押してください。 それでも正常に戻らない場合には，修理をご依頼ください。
PLS EJECT PLS EJECT	イジェクト動作が完了していないときに，再生を始めようとした。	――	パネルを開けて ⏏ を押してください。

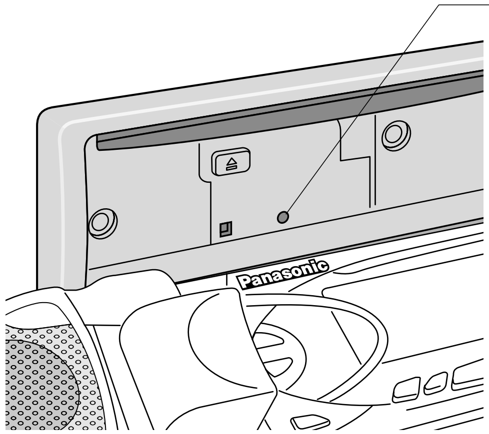
■ チェンジャー

表　示　例	原　因	動　作	確　認　・　処　置
CD･CH – E1 – MD･CH – E1 –	●ディスクが汚れている，裏返しになっている。 ●挿入した MD が，データ用または録音されていない。	自動的に，次のディスクに替わります。	ディスクを確認してください。
CD･CH – E2 – MD･CH – E2 –	ディスクにキズがついている。		
CD･CH – E3 – MD･CH – E3 –	何らかの原因で動作しない。	――	チェンジャーの ⏏ を押してください。 動作しないときは，チェンジャーのリセットスイッチを押してください。 それでも正常に戻らない場合には，修理をご依頼ください。
NO　DISC	チェンジャー（マガジン）に，ディスクが 1 枚も入っていない。	――	チェンジャー（マガジン）に，ディスクを入れてください。

お知らせ

- E1，E2 の前に，エラーとなっているディスク番号が表示されることがあります。
- チェンジャーによって表示内容や対応操作が一部異なります。詳細は，ご使用のチェンジャーの取扱説明書をご参照ください。

動作がおかしい場合は



リセットスイッチ

この穴に折れない細い棒などを入れて，スイッチを押す。

- 異常回復後，初期の状態に戻ります。記憶した内容や設定が解除されますので，ご注意ください。

お願い

どのボタンを押しても動作しない場合に，押してください。
パネルが開かない場合や正常に戻らない場合には，お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」に修理をご依頼ください。

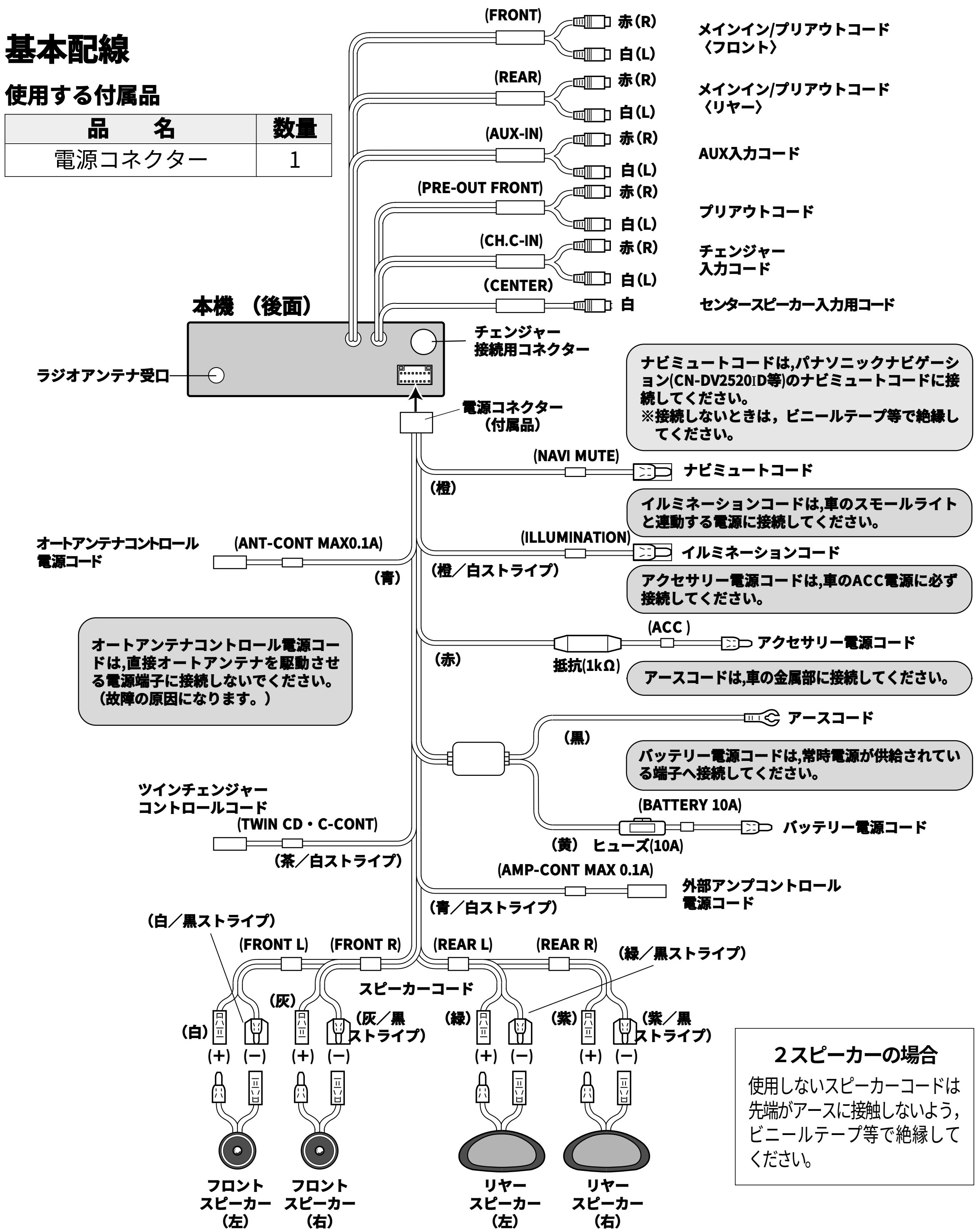
- 配線については，接続した各機器の取扱説明書をよくお読みください。
- スピーカーは各種とりそろえておりますので，お買い上げの販売店にご相談ください。

ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けてある車では，バッテリーの端子をはずすとこれらのコンピューターのメモリーが消えてしまうことがありますので，ご注意ください。

基本配線

使用する付属品

品　名	数量
電源コネクター	1



2スピーカーの場合

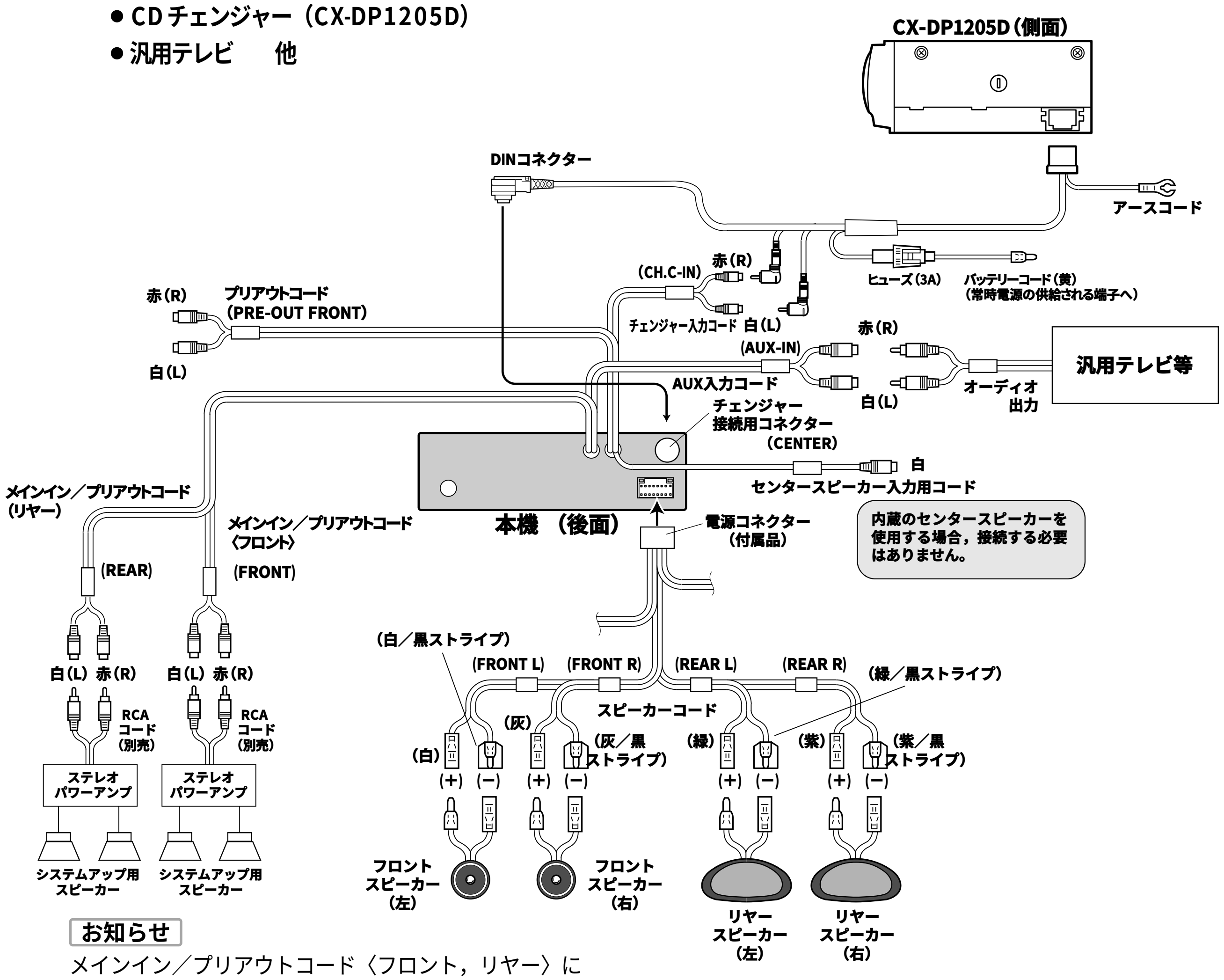
使用しないスピーカーコードは先端がアースに接触しないよう，ビニールテープ等で絶縁してください。

必要なときに

システムアップ例 1 ： 10 スピーカー（センタースピーカー含む）

組み合わせ

- CD チェンジャー（CX-DP1205D）
- 汎用テレビ　他



お知らせ

メインイン／プリアウトコード〈フロント，リヤー〉に外部アンプを接続する場合には，DVD IN 設定を“ OFF ”にしてください。（P.32 参照）

⚠ 注意

取り付け･配線は専門技術者に依頼する

本機の取り付け，配線には専門技術と経験が必要です。安全のため，お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解や改造をしない

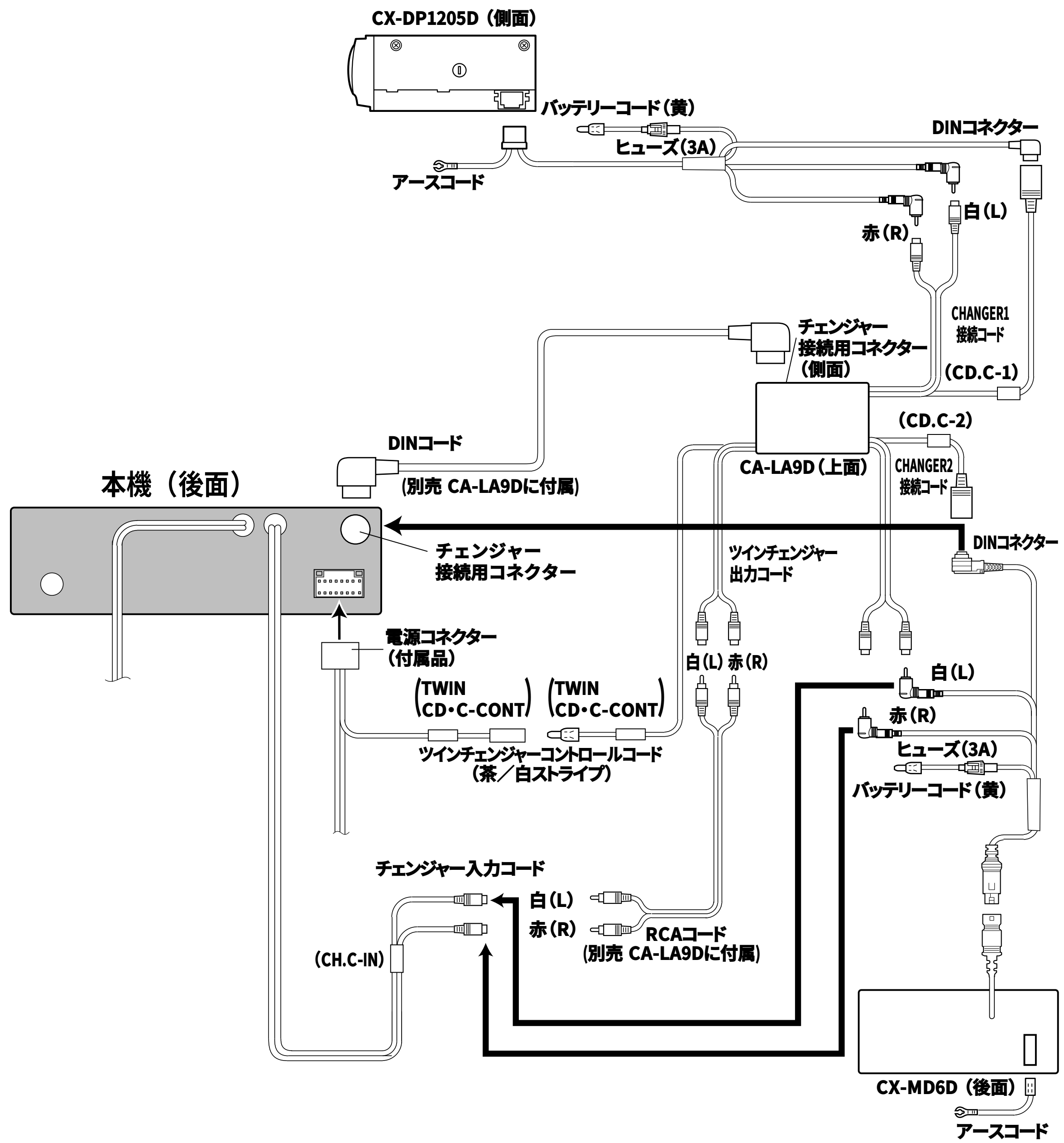
分解禁止

分解や改造，コードの被覆を切って，他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火，感電，故障の原因になります。

システムアップ例 2 ：チェンジャーを接続する

組み合わせ .....CD チェンジャー（CX-DP1205D），MD チェンジャー（CX-MD6D）

- 2 台接続する場合には，別売のツインチェンジャーコントロールユニット（CA-LA9D）が必要です。
- 1 台の場合は，太線（ ← ）のように接続します。（接続例： MD チェンジャー）



システムアップ例 3 ： 5.1ch サラウンドシステム（P.37 参照）

組み合わせ
- デジタルサラウンドプロセッサー（CY-AC300D）
- DVD ナビゲーションシステム（CN-DV2520ⅠD）
- 7 型ワイドインダッシュ TV（CY-TV707WD）
- アンプ内蔵サブウーファー（CJ-BL100D）　他

準備

① DVD IN 設定を“ON”にする（P.32 参照）
“THRU 表示”が点灯します。

② CY-AC300D へのアナログ入力レベルを調整する
CY-AC300D の“OVER インジケーター”が点灯しないように，本機で音量を調整します。

- アナログ入力レベルを調整が終わったら，以降のシステム全体の音量は CY-AC300D で調整します。
- サウンド・音場は CY-AC300D で設定するため，本機で設定したサウンド・音場設定は無効になります。
- CY-AC300D への入力ソースは，本機で切り替えます。（DVD ビデオを除く）

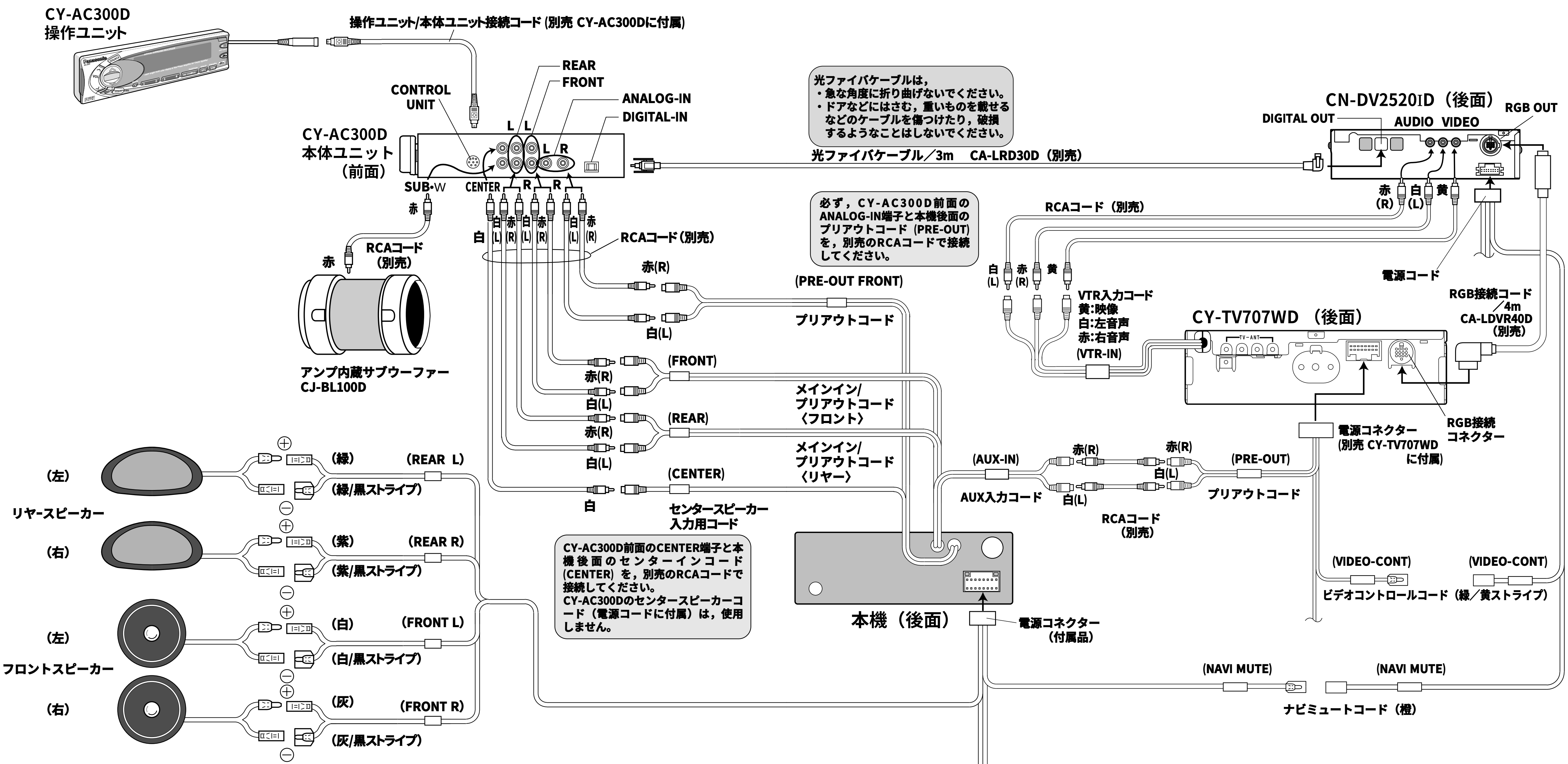
詳細は，CY-AC300D の取扱説明書をご参照ください。

お願い

CY-AC300D をご使用にならない場合は
- CY-AC300D を取りはずし，必ずシステムを組みなおしてください。
- DVD IN 設定は，“OFF”にしてください。

お知らせ

アナログ入力レベルが正しく調整されていないと，音が小さすぎたり，歪んだりすることがあります。



取り付けのしかた

⚠ 注意

取り付け･配線は専門技術者に依頼する

本機の取り付け，配線には専門技術と経験が必要です。安全のため，お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付け用付属品

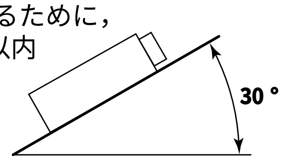
添付の袋には，下表の取り付け用部品が入っています。ご使用前に，よくお確かめください。

番号	品　名	数量
❶	タップタイトねじ（ϕ 5 x 6 mm）	4
❷	タップタイトねじ〈皿型〉（ϕ 5 x 6 mm）	4
❸	スペーサー	2
❹	両面テープ	2

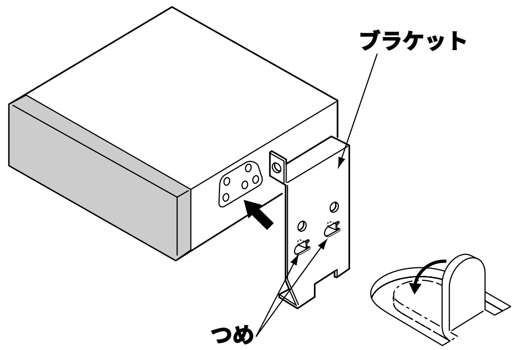
取り付けのお願い

本機は上段に取り付けてください。
ただし，インダッシュモニターと組み合わせる場合は下段へ取り付けてください。

- 取り付ける場所によっては，本機のパネルやスピーカーがシフトレバー等にあたる場合もあります。販売店にご相談ください。
- 本機の取り付けねじの長さは **6 mm** です。必ず付属ねじ ❶ または ❷ をご使用ください。
- 性能を十分に発揮するために，水平に対して30度以内の角度で取り付けてください。

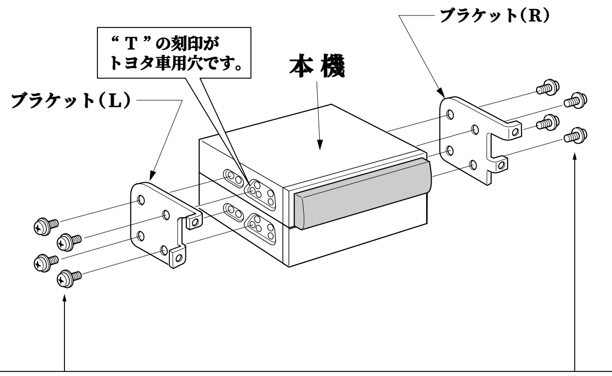


- 車両で使用されているブラケットをご使用ください。
- ブラケットに“ つめ ”がある場合には，ラジオペンチ等で折り曲げて，平らにしてください。



トヨタ車（DIN サイズ採用車）

1. 車両のカーラジオ，小物入れ，それらを止めているブラケットを取りはずす。
2. 付属ねじ❶または❷で，本機にブラケットを取り付ける。
3. 本機を車両に取り付ける。



付属ねじ(❶または❷)…ブラケットの穴形状に合わせて選んでください。

❶タップタイトねじ（ϕ5 x 6 ㎜）

❷タップタイトねじ〈皿型〉（ϕ5 x 6 ㎜）

お知らせ

- **DIN サイズ採用車とは**
  オーディオスペースに通称セット幅180㎜，高さ50㎜サイズが搭載できる車です。
- 年式，車種，グレードにより専用キット（別売）が必要な場合もあります。販売店にご相談ください。

日産･本田･三菱車（DIN サイズ採用車）

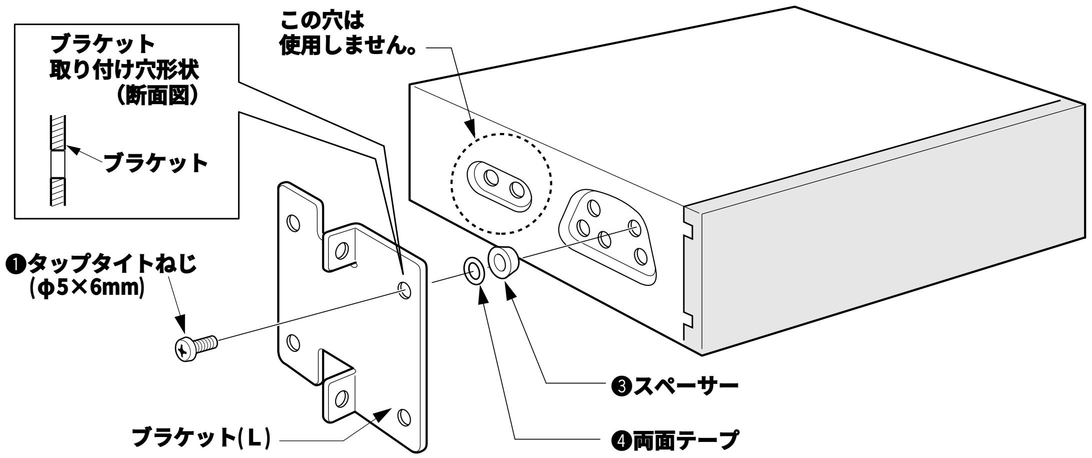
- メーカー別の標準取り付けキット（別売）が準備されておりますので，販売店にご相談ください。
- 年式，車種，グレードにより専用キット（別売）が必要な場合もあります。販売店にご相談ください。

その他の車（DIN サイズ採用車）

汎用または車種別に専用キット（別売）が準備されておりますので，販売店にご相談ください。

スペーサーについて

車両のブラケット取り付け穴形状が下図のような場合には，スペーサーをご使用ください。



必要なときに

仕様

共通

電源電圧	：DC 12 V（試験電圧 14.4 V）⊖アース
消費電流	：8.5 A 以下（CD 動作定格出力時）
定格出力	：18 W × 4 ch（1 kHz，1 %, 4 Ω）
最大出力	：45 W × 4 ch ＋ 5 W
適合スピーカーインピーダンス	：4 Ω
外部入力インピーダンス	：10 kΩ（AUX IN）
外部入力感度	：200 mV（AUX IN）
プリアウト出力電圧	：2 V（CD/MD）
プリアウト出力インピーダンス	：200 Ω
外形寸法	：幅 178 × 高さ 50 × 奥行き 155（mm）
質量	：〈RX〉1.7 kg，〈MR〉1.6 kg

DSP 部

チャンネル数	：入力 2 チャンネル，出力 6 チャンネル
スペースモード	：7 種類
イコライザー中心周波数	：80, 160, 320, 640, 1.6 k, 4 k, 10 k（Hz）
イコライザー可変範囲	：－12 dB 〜＋12 dB（13 段階）

チューナー（ラジオ）部

FM チューナー部

受信周波数範囲	：76.0 MHz 〜 89.9 MHz
実用感度	：12 dBf
全高調波ひずみ率（モノ）	：0.3 %（1 kHz）
聴感補正 SN 比（モノ）	：70 dB
周波数特性	：20 Hz 〜 15 kHz ± 3 dB
分離度	：42 dB（1 kHz）
実効選択度	：75 dB

AM チューナー部

受信周波数範囲	：522 kHz 〜 1 629 kHz
実用感度（S/N 20dB）	：27 dB/μ V
イメージ妨害比	：65 dB

CD プレーヤー部〈RX のみ〉

チャンネル数	：2 チャンネル
複号化	：16 ビット直線
周波数特性	：5 Hz 〜 20 kHz（1dB）
信号対雑音比	：90 dB（IHF, A）
ワウ・フラッタ	：測定限界以下

MD プレーヤー部〈MR のみ〉

周波数特性	：5 Hz 〜 20 kHz（1dB）
信号対雑音比	：90 dB（IHF,A）
ワウ・フラッタ	：測定限界以下

■本機は，ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

■NAVI は登録商標です。

製品仕様および外観は，改良のため予告なく変更することがありますので，ご了承ください。

アフターサービスについて

■保証書（別に添付してあります。）

保証書は，必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき，内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

保証期間－お買い上げ日から１年間

■修理を依頼されるとき

“故障？と思ったら”の項に従って調べていただき，直らない場合には必ず電源を切ってから，お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間中は
  保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので，恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。
  お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には，お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にご連絡ください。
- 保証期間が過ぎているときは
  お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については，ご希望により有料で修理をさせていただきます。販売店にご依頼にならない場合には，お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にご連絡ください。

■補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は，製造打ち切り後，最低６年間保有しております。

■アフターサービスなどについて，おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または，お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にお問い合わせください。

メモ

便利メモ（おぼえのため，記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	**品　番**	CQ-RX 909D CQ-MR 909D
販 売 店 名	☎（　　）　　ー		
お　客　様 ご相談窓口	☎（　　）　　ー		

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社　カーシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地
☎（045）932-1231（大代表）

YEFM283450　B1099-0